

「観光」による地域活性化に 公共交通はどうかかわり、役立っていただけるのか —交通部門と観光部門の連携のためにいまできること・お願いしたいこと—

観光による地域活性化と二次交通を考えるシンポジウム

2024年6月7日 於:大阪国際交流センター

話題提供者 大井 尚司

(大分大学経済学部門/減災・復興デザイン教育研究センター 復興デザインユニット)

(総務省「地域人材ネット」地域力創造アドバイザー)

自己紹介

●生年と出身

1973年生まれ、福岡県出身(北九州市生まれ)

●学・職歴

熊本大学(法学部)→旅行会社(主に海外旅行担当5年:海外も含めた添乗員資格取得)→神戸大学大学院(経済→経営で6年)→運輸政策研究機構(現:運輸総合研究所)研究員(東京・2年)→現職(16年目:旅客の運行管理者、温泉ソムリエ取得)

※第一交通産業(株)特命担当次長(19.11-20.3)、九州大学大学院統合新領域AMS専攻非常勤講師(継続)、総務省「地域人材ネット」地域力創造アドバイザー(16.4~)、総務省「地域人材ネット」地域力創造アドバイザー(16.4~)、運輸総合研究所客員研究員(22.4-24.3)、国土交通省交通政策審議会委員(23.3~)

●専門

交通、観光(主に経済学、交通計画、地域計画、経営学の側面から)

例: 地方鉄道の経営、バスの規制緩和、観光の経済効果、地域公共交通の制度設計・関わる人材の育成

●社会活動:

地域内)自治体地域公共交通会議・協議会の支援(九州内(佐賀県・長崎県以外の全県)で計32市町・地域および3県、大分13市町+県)各種政策(県総合計画、PT、津波、温暖化対策、港湾活性化、観光、広域交通ネットワーク)検討委員

大分県・熊本県・鹿児島県の担当者研修支援 ほか

国交省) 地域交通法の補助事業第三者評価委員(九州) 国土交通大学校地域公共交通研修(課題研究担当、2年ほど休止中)

交通政策審議会地域交通部会臨時委員(2020年地域交通法改正に従事)→交通政策審議会委員(2023~)

*計画部会、陸上交通分科会、地域交通・自動車・海事の各部会、社会資本整備審議会(臨時委員)へ同時就任

各種懇談会(地域公共交通、道路、港湾)、各地の講演 ほか

地域交通計画・活性化再生法・バスマップ・鉄道活性化のマニュアル等の作成(九州、本省)

学会) 日本交通学会理事、日本観光研究学会理事・九州・韓国南部支部支部長、日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)委員兼幹事、日本都市計画学会九州支部幹事、日本計画行政学会九州支部理事、日本地域政策学会九州支部理事、公益事業学会評議員

他) 総務省「地域人材ネット」地域力創造アドバイザー(派遣費用が総務省から補助されます) 「全国移動ネット」アドバイザー

「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu(Qサポネット)」代表(13年、25回、延べ2200人)

「タクシーコミュニティネットワーク研究会(タクコミネット)」研究者代表 「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」実行委員

個人的) 温泉ソムリエ取得(2023年)、鹿児島大学・鹿児島県酒造組合認定「焼酎マイスター養成コース」13期受講生(学生です)

今日の話題提供の内容

- なぜいま「観光」と「交通」か
- 観光における交通利用の現状と課題—学生の調査より
- 「観光」は「交通」に寄与するか—事例の紹介
- まとめにかえて—観光と交通、両部門の連携を



■ なぜいま「観光」と「交通」か

- 観光における交通利用の現状と課題—学生の調査より
- 「観光」は「交通」に寄与するか—事例の紹介
- まとめにかえて—観光と交通、両部門の連携を

「観光」と「日常交通」の切っても切れない関係①

■ 鉄道の路線撤退・再構築・経営再建

観光鉄道もいつかは飽き、真似られる→投資が継続できるか
鉄道は会社がやるもの、との地域の無関心？→観光だけでは食えない
JR北海道の問題は「対岸の火事」？

→ 巨額の赤字、でも東京から観光列車:それでいいか？

鉄道の次はバスがある ⇒ 人手不足+経営難で楽観できず

■ 道路・マイカー・レンタカーは観光交通を賄えるか

混雑は人気の裏返し ⇔ 一方で観光地悪評の原因に
運転できないインバウンドの存在 ⇒ 京都のバスの混雑問題
「運転」「維持費」がもたらす観光行動・消費の制約

生活交通の維持も、
観光も、
「公共交通」とは
無関係ではない

「観光」と「日常交通」の切っても切れない関係②

- **バス会社の経営破綻・バス路線の撤退がもたらすもの**
波動性高＝「観光地」路線の危機（九州だと佐多岬、湯平温泉、菊池溪谷）
先が見えない(不確実な)ものに投資できない経営難の現実
高速バス・長距離バスの整理統合の影響(低廉で代替になる手段の減、移動を困難に)
地方自治体の政策・乗務員不足に振り回される破たん・撤退(不採算な政治路線優先?)
- **タクシー会社もいまや倒産・撤退・供給力不足**
津和野のタクシー撤退問題：生活交通すらも危機、観光は余計
「デマンドタクシー」＝観光には使えない、日常でも使えない？
「タクシーはなくなる・なくせない」=>むしろ消滅リスク高(まっさきにいなくなる)
ライドシェアが「つけ入る隙」？＝タクシー不足(夜間など)、供給対応の遅れ(人手不足)の影響

守られ・努力しない業界にも、周辺にも意識転換を迫っている

(「分け前が減る」レベルの議論では、分け前すらもらえなくなる)

『いつまでも **あると思うな 公共交通**』『**気が付けば 自力しかない 観光地への足**』 6

- なぜいま「観光」と「交通」か
- **観光における交通利用の現状と課題—学生の調査より**
- 「観光」は「交通」に寄与するか—事例の紹介
- まとめにかえて—観光と交通、両部門の連携を

調査研究の内容

① インバウンドの公共交通利用に関する課題

→ 別府(2015.8調査)

* 別府市地域公共交通活性化協議会、亀の井バス様協力

② 大分空港利用者の回遊行動と二次交通利用

→ 大分空港(2016.8～9調査)

* 大分航空ターミナル様協力、県委託事業(知の拠点事業)

① インバウンドの公共交通利用に関する課題

→ 別府(2015.8調査)

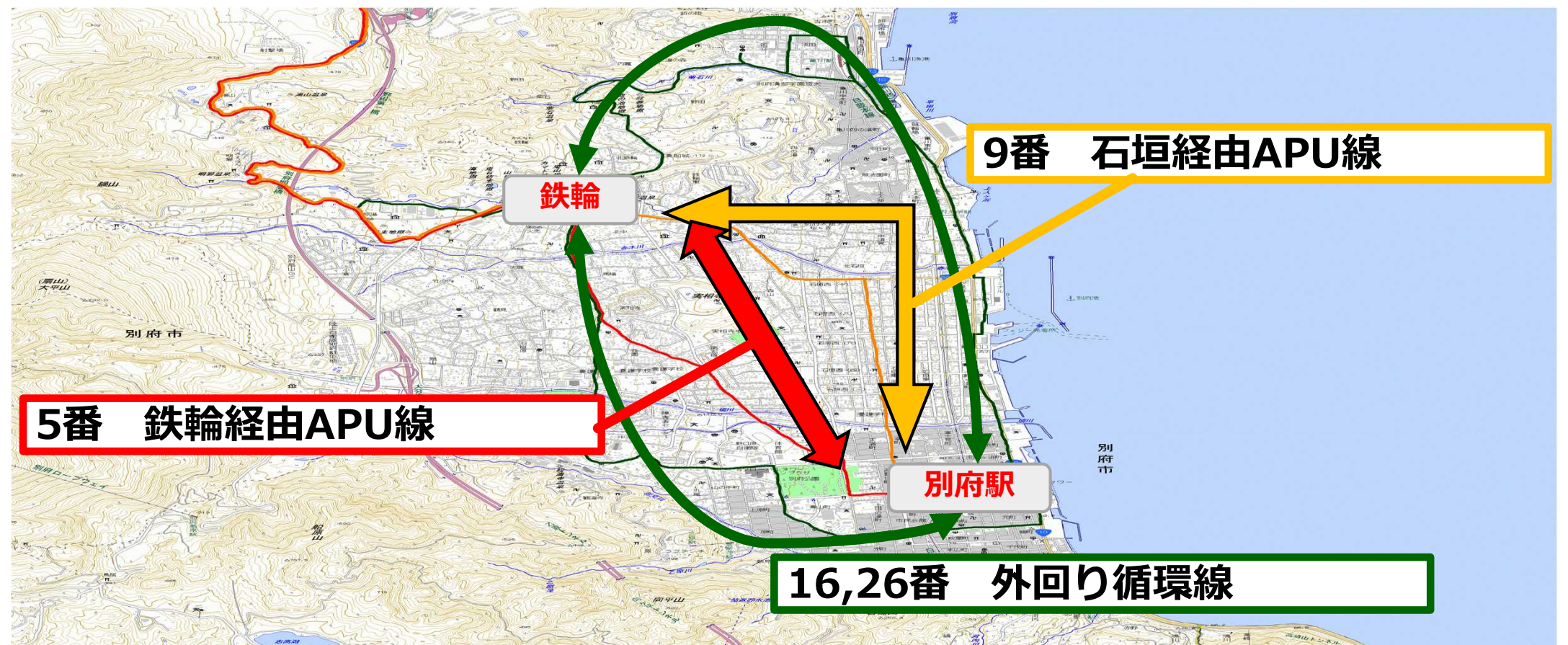
* 別府市地域公共交通活性化協議会、亀の井バス様協力

② 大分空港利用者の回遊行動と二次交通利用

→ 大分空港(2016.8～9調査)

* 大分航空ターミナル様協力、県委託事業(知の拠点事業)

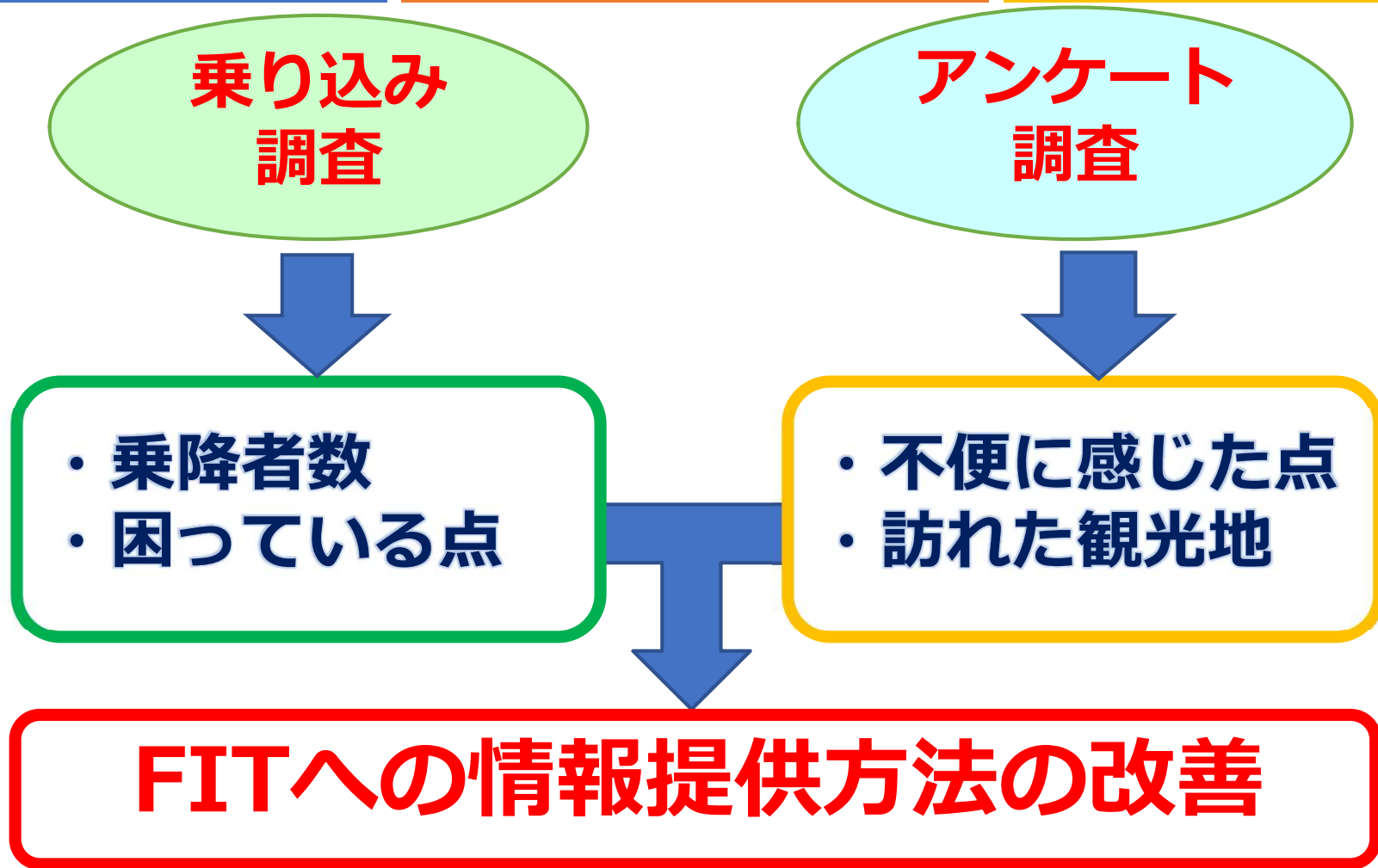
バス乗り込みによるインバウンド調査 (2015年8月の平日・休日計4日間実施)



乗り込み調査の対象路線

路線と運行頻度	始発	主な経由地	終点
16番 外回り循環線	鉄輪	血の池地獄・別府海浜砂湯・別府駅・市役所	鉄輪
26番 外回り循環線	鉄輪	市役所・別府駅・別府海浜砂湯・血の池地獄	鉄輪
5番 鉄輪経由APU線	別府駅西口	市役所(北口)・鉄輪	立命館アジア太平洋大学(APU)サファリ
9番 石垣経由APU線	別府駅西口	石垣・九州横断道路・鉄輪	立命館アジア太平洋大学(APU)

調査期間：2015年8月20日(木)～8月23日(日)



乗車地及び降車地

利用者**多**→別府駅、鉄輪、
血の池地獄

利用者**少**→北浜バスセン
ター、亀川駅



**利用者の多い停留所では
十分な情報提供が必要**

交通拠点における情報提供

●別府駅西口

観光案内所で案内

案内板を設置

●鉄輪

待合室で案内

しかし・・・ **多くのFITが案内スタッフに質問**



乗務員等の対応

●交通拠点の案内スタッフ

概ねスムーズな会話

バスへすみやかに誘導

人手不足

●バス乗務員

簡単な英語や地図を示しながらの対応

やりとりはスムーズではない



全てのFITに十分な対応はできない

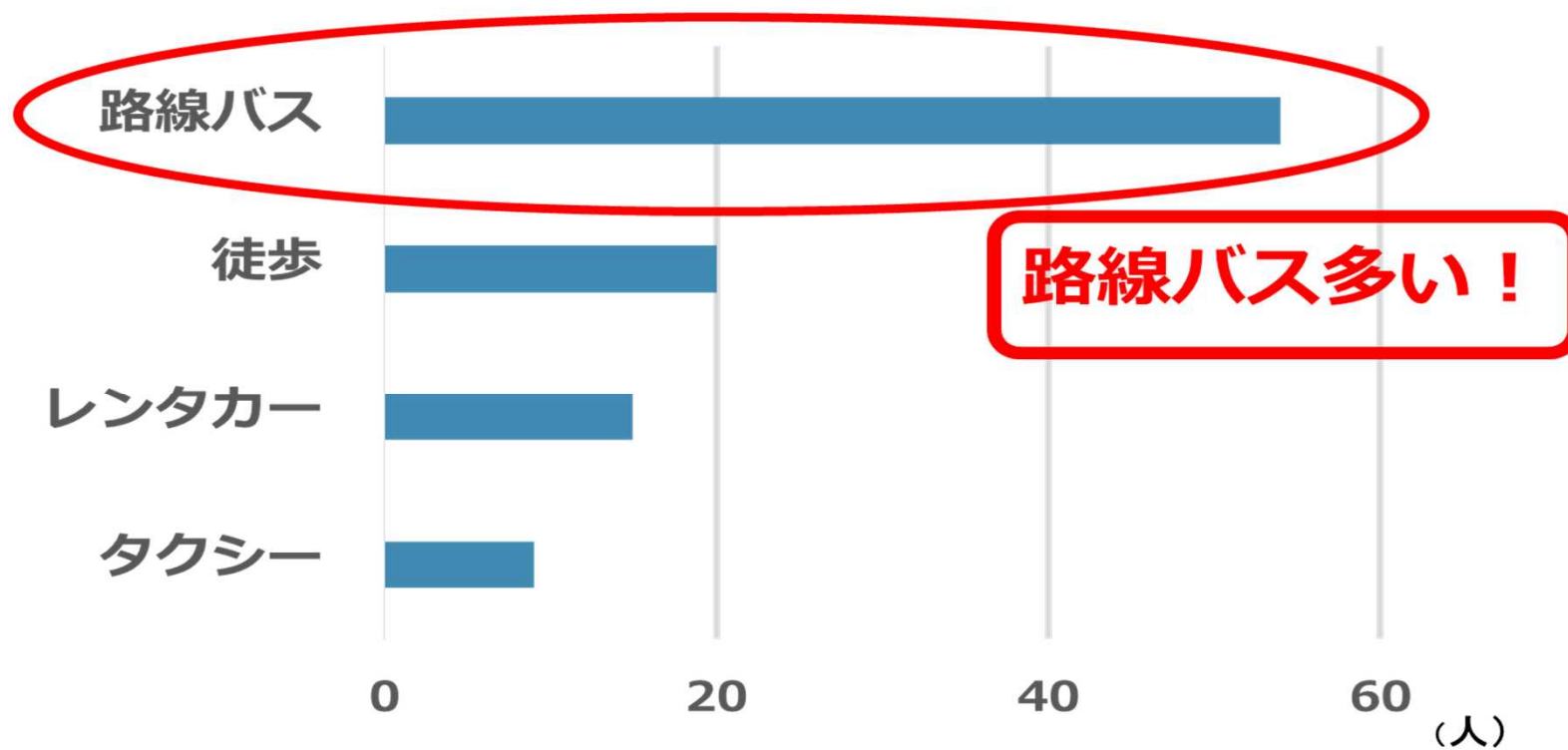
車内におけるFITの行動

- **運賃の払い方**を理解していない
- 「Myべっぷフリー」の利用方法
- 乗車時に**整理券**を取らない
- **前ドア**から乗車

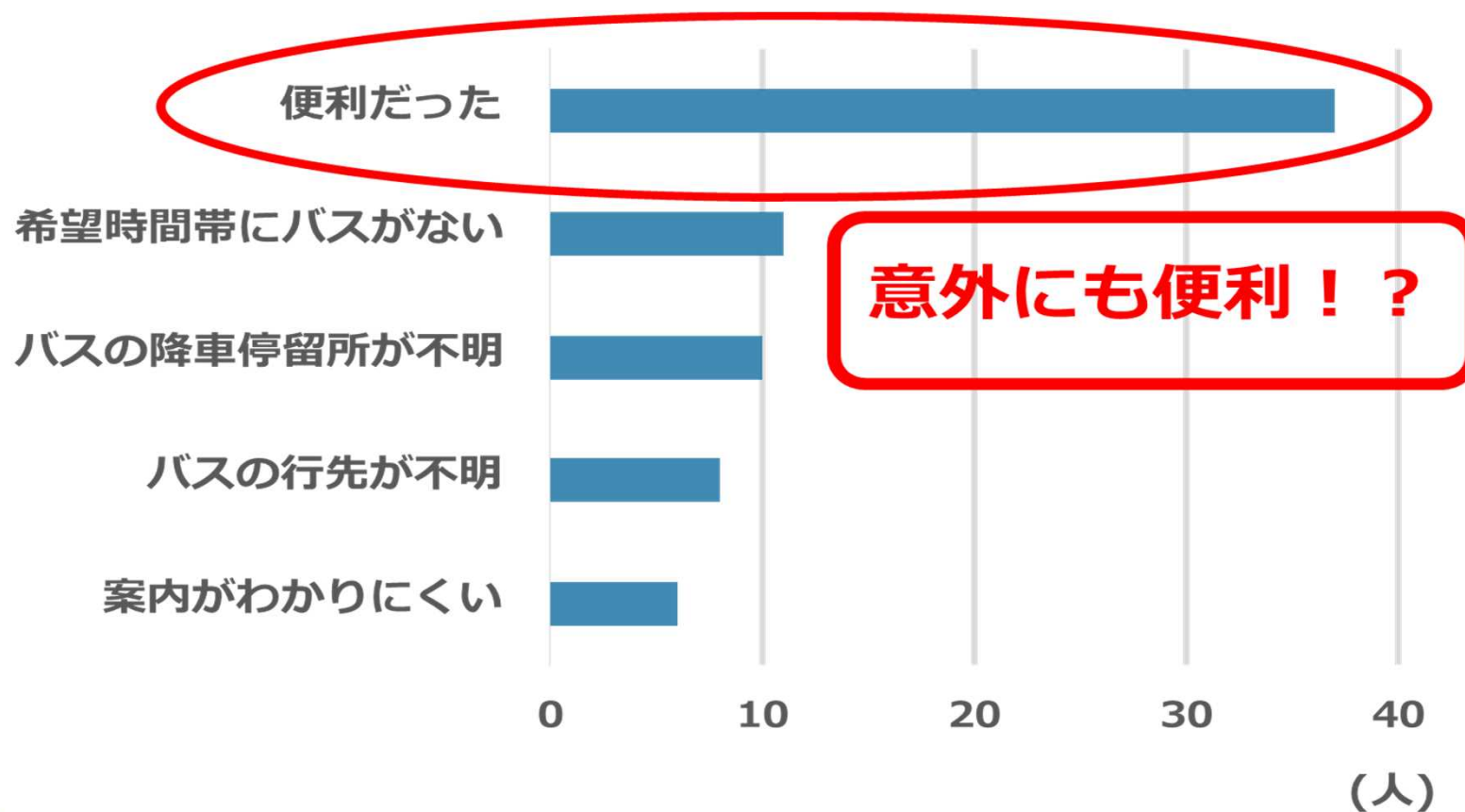


バスの基礎情報が伝わっていない

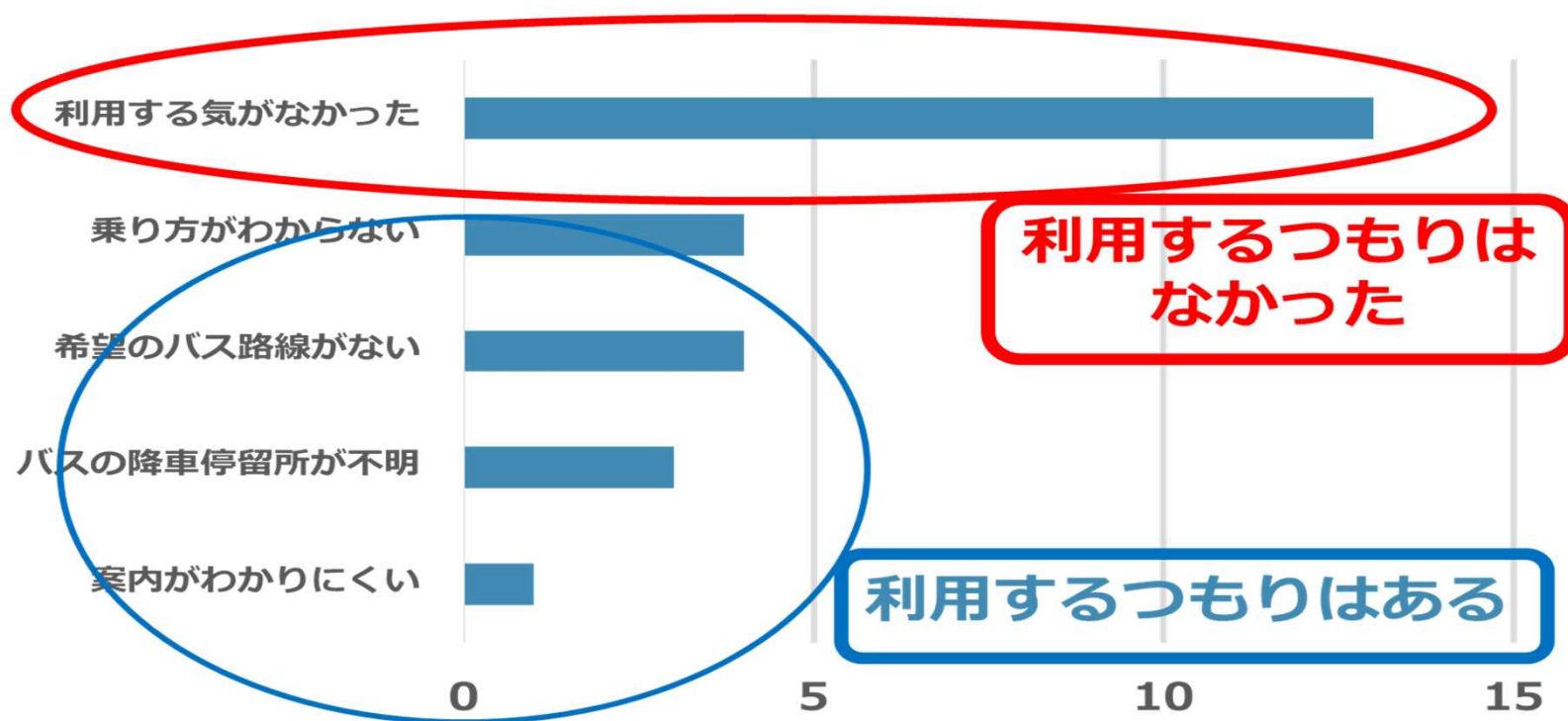
移動手段



バスで不便に感じた点(複数回答)



バスを利用しなかった理由(複数回答可)



バス(公共交通)の利用可能性

アンケートより

「バスは便利」回答多

FITに知ってもらうため



路線バスをもっとアピールする必要

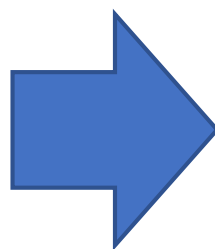


そもそもバスを利用する気がなかった人に対しての提案（新規開拓）

バスの魅力

- **迷わない**
- **観光地で特典がある**

観光地の
HP



バスに乗りたい！



別府市役所のホームページにおける情報提供

- 4か国語で表記
- ページ内リンクで様々な観光地の情報
- 交通情報サイトへのリンク

情報過多 → 混乱

別府市の提供する観光情報サイトにおける発信

- バス停名や所要時間→**英語**で表記
- 時刻表などその他の情報→**日本語**のみ
- 観光地へのアクセス情報なし

情報の取得→困難

路線バスを利用したいが利用方法が分からない人に対しての発信 重要性



① インバウンドの公共交通利用に関する課題

→ 別府(2015.8調査)

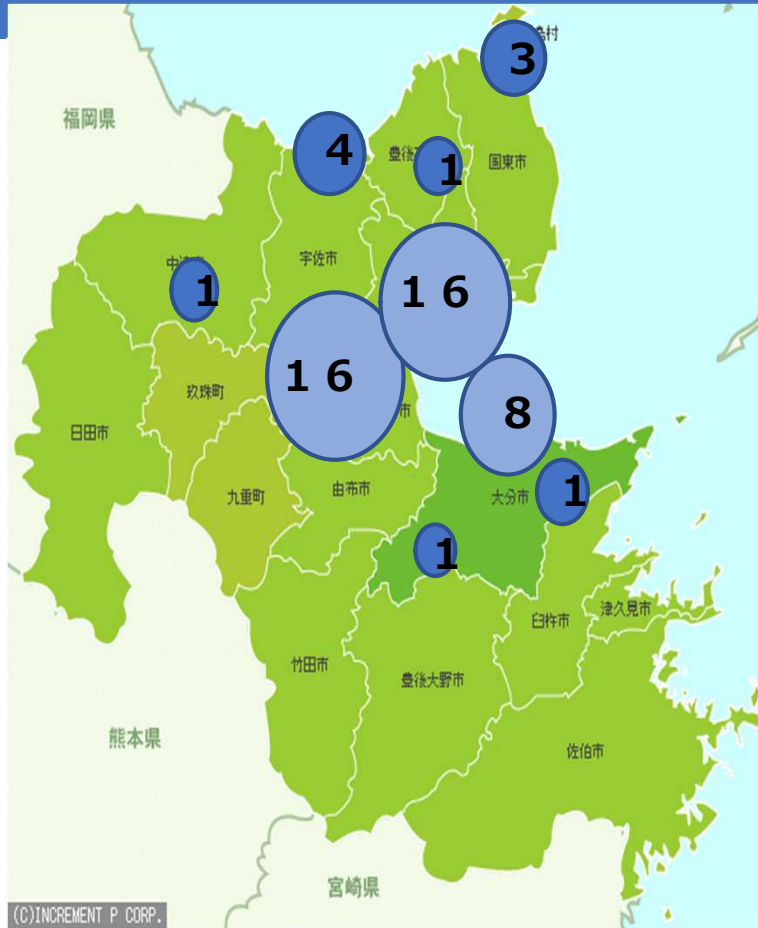
*別府市地域公共交通活性化協議会、亀の井バス様協力

② 大分空港利用者の回遊行動と二次交通利用

→ 大分空港(2016.8～9調査)

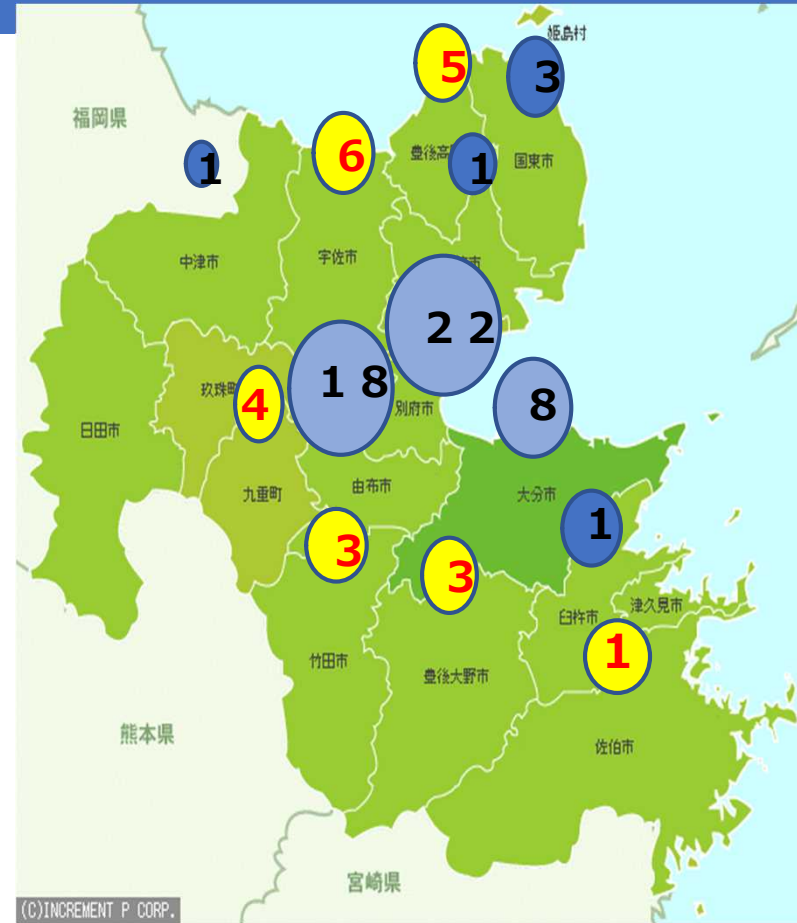
*大分航空ターミナル様協力、県委託事業(知の拠点事業)

訪問地の分布(左:公共交通/右:レンタカー)



公共交通利用者が訪れた観光地

近畿運輸局シンポ2024(大井@大分大)



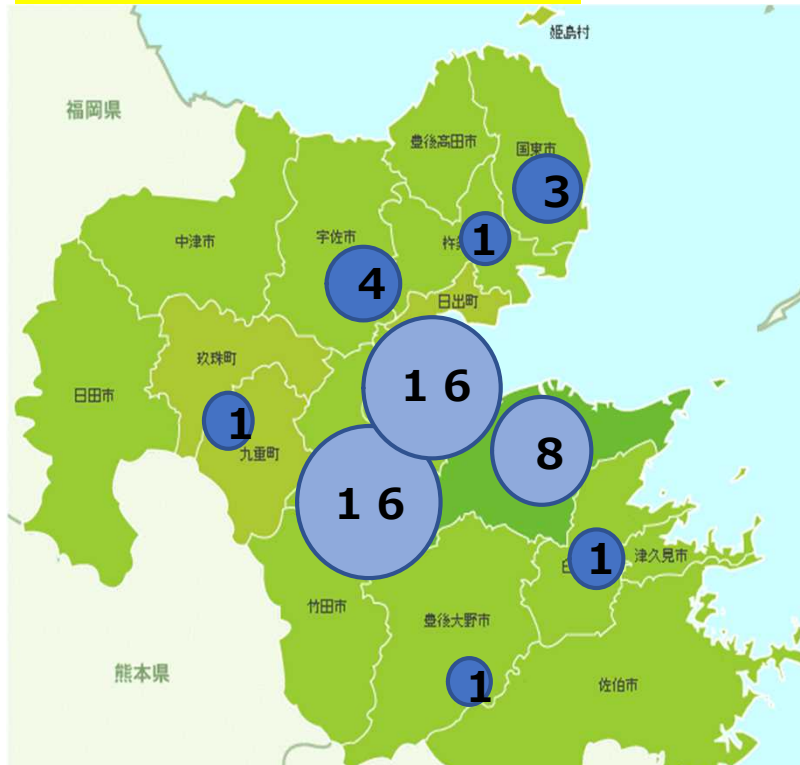
レンタカー利用者が訪れた観光地

2024/06/07

大分空港からの公共交通ネットワークと対比すると

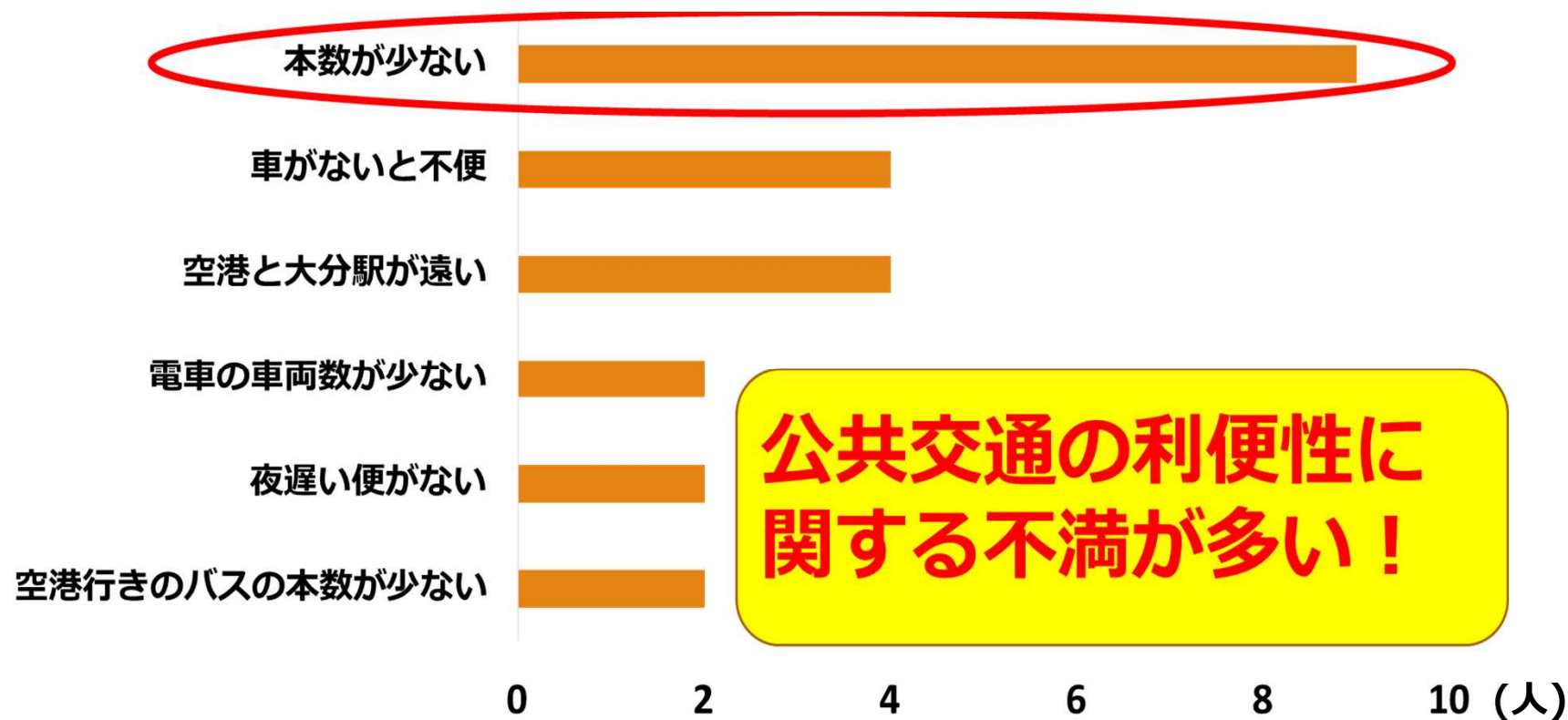
公共交通利用者の訪問地

大分空港から直行バスがでている市町

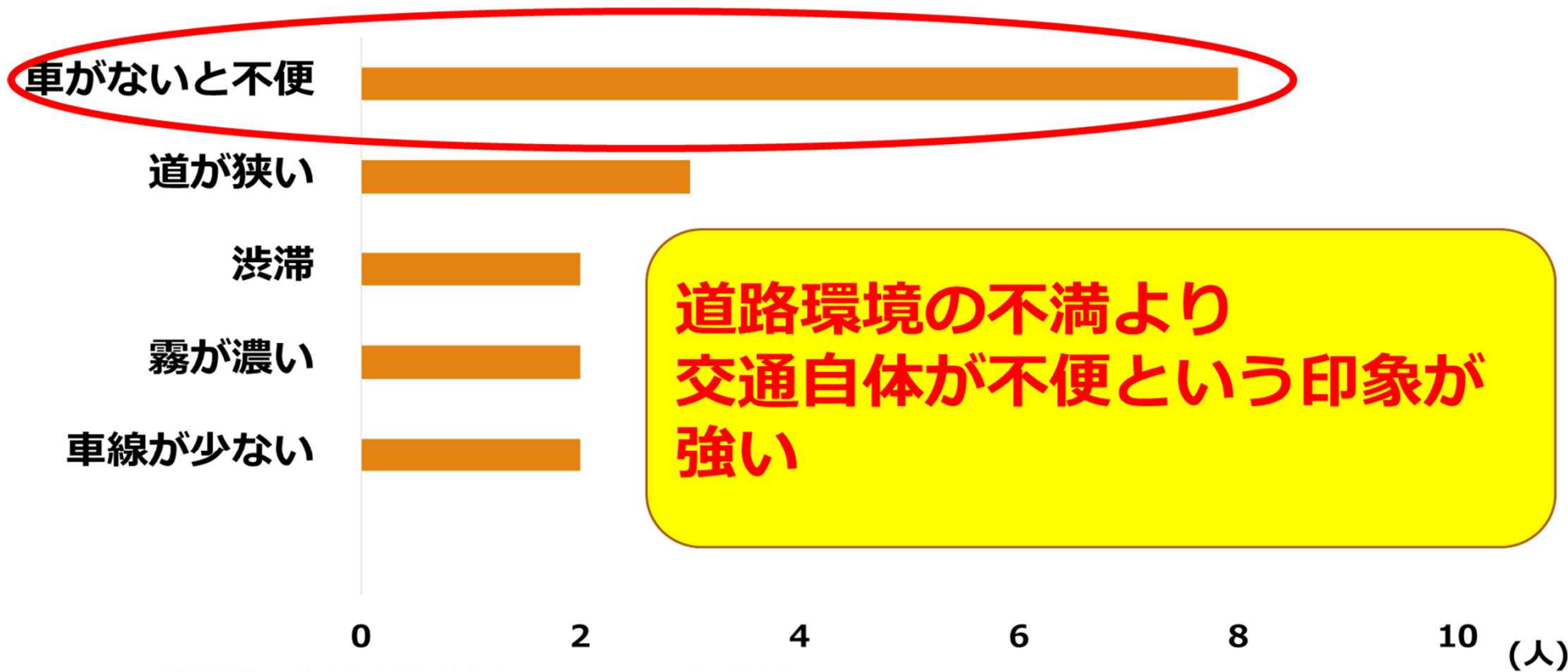


公共交通利用者は、行動を制限されている！？

大分県内の公共交通に対して不便だと感じた点



レンタカーで大分県内を移動していて不便だと感じた点



そもそも、公共交通利用者が少ない という現実

レンタカー利用者の意見


- 公共交通だと不便だろうと思った
- 最寄り駅までの行き方が分からなかった
- 空港から鉄道に乗れると思っていた
- 大分駅から空港行のバスがでていないか分からなかった

パンフに「クルマで〇分」しかない

認知度を上げるためのPR活動も大切ではないか？

+

「クルマでしか行けない」は周遊にマイナス

- 
- なぜいま「観光」と「交通」か
 - 観光における交通利用の現状と課題—学生の調査より
 - 「観光」は「交通」に寄与するか—事例の紹介
 - まとめにかえて—観光と交通、両部門の連携を

九州産交バス「バス旅」の例

◎路線ある、時刻載っている、目的地は表示、でも

👉 これで使われなかった：読みにくい、わからない、メンドクサイ

九州産交バス「バス旅」(ロバの旅)の例



- MaaSよりも、十勝よりも早かったのは熊本！（アナログMaaS）
- 「出発地から目的地まで」トータルの移動組み合わせ
- 当然、目的地も、目的も組み合わせ
- しかも、一切調査手配・追加の手段準備不要（自由度はきかないが）
- 熊本に、自社内に限定しない目的地設定

「ロバの旅」詳細：田原坂コースの例

歩くための
モデルコース
までも案内
＝それもセット

【平日発】西南戦争激戦の地 田原坂古戦場を歩く



基本料金 **¥2,000～¥2,000 (日帰り)**
 出発地 熊本桜町バスターミナル 目的地 熊本
 設定期間 2019/01/07～2019/12/26 ツアーコード A1-RT1A-000170

熊本市 1日観光 食事 歴史

コースのポイント ツアー日程詳細 ツアー条件 旅行代金 お問い合わせ先・旅行企画・実施

ツアー日程詳細

スケジュール

熊本桜町バスターミナル(8:25発) = 山鹿温泉行 = 熊本乗換 (8:58 / 9:11) = 玉名駅行 = 境木バス停 (9:27頃着) = 徒歩(5分) = 西南戦争激戦地

西南戦争激戦地 豊岡眼鏡橋 / 田原坂ウォーキング

一の坂…二の坂…三の坂…田原坂公園…熊本市田原坂西南戦争資料館…弾痕の家(復元)…七本柿本台場薩軍墓地

七本柿本台場薩軍墓地 = 徒歩(約7分) = 七本バス停 (12:16発) = 桜町ターミナル行 = 熊本桜町バスターミナル (13:01頃着) = 徒歩(約6分) = 桜の馬場城彩苑

桜の馬場城彩苑・熊本城にて昼食とフリータイム(約2時間30分)

「茶房 櫻ン坂」であか牛ハヤシカレーの昼食

桜の馬場城彩苑 = 徒歩(約6分) = 熊本桜町バスターミナル(15:32発) = 鹿児島バス・西部車庫行 = 北岡神社前バス停(15:38頃着) = 徒歩(5分) = 北岡神社

北岡神社参拝 (約30分)

北岡神社 = 徒歩(5分) = 北岡神社前バス停(16:15発) = 桜町ターミナル行 = 熊本桜町バスターミナル(16:22頃着)

宿泊施設

食事

朝× 昼× 夕×

2024/06/07

コースのポイント

熊本の中心地より産女バスでGo!

西南戦争激戦地・田原坂と、薩摩軍の本営が復元された北岡神社を巡ります! 桜やツツジの名所として知られる田原坂公園では、熊本市田原坂西南戦争資料館や弾痕の家(復元)を見学、資料館前展望デッキからは古戦場を望めます。

【熊本市田原坂西南戦争資料館、田原坂公園】

同内戦争の内城である西南戦争激戦地・田原坂に平成27年11月に新築オープンしました。館内には、西南戦争に関する資料が多数展示されており、映像や音響で激戦の臨場感を再現した体験型展示は必見です。

【北岡神社】

934(承平4)年に創建された北岡神社は、花園山の麓に鎮座しています。参道には創建1000年の大きなクスノキがそびえ立ち、このクスノキは「夫婦榎」と呼ばれており、厄払いや夫婦円満、縁結びのご利益があるとされています。西南戦争時、熊本城を見下ろすことが出来る高台だったため、薩軍の本営が置かれたといわれています。



田原坂公園 弾痕の家

「ロバの旅」詳細：人吉温泉コースの例

日帰り

路線バスの旅

人吉温泉と国宝青井阿蘇神社（清流山水花 あゆの里）



基本料金 **¥5,900~¥5,900 (日帰り)**
 出発地 熊本駅 目的地 熊本/人吉
 熊本桜町バスターミナル 設定期間 2019/01/07~2019/12/26
 ツアーコード A1-RT1A-000020

人吉 1日観光 温泉 食事 アクセスセット

ツアー日程詳細

公共交通以外の
アクセスでも
カバー
=それもセット

1日目

熊本駅(09:48発) / 熊本桜町バスターミナル(10:00発) = 電車 (なんぶう号宮崎行き) = 人吉ICバス停(11:43頃着) = 送迎バス (送迎10分)
 = 人吉温泉旅館 清流山水花 あゆの里

「吉温泉 清流山水花 あゆの里」で和会席の昼食と温泉、その後フリータイム << 滞在約3時間30分 >>

【周辺観光地】・国宝青井阿蘇神社(徒歩約10分) ・鍛冶屋町通りまで(徒歩約5分) など

人吉温泉旅館 清流山水花 あゆの里 = 送迎バス (送迎10分) = 人吉ICバス停(16:03発) = 電車 (なんぶう号熊本行) = 熊本桜町バスターミナル
 (17:41頃着) / 熊本駅(17:49頃着)

宿泊施設

食事

朝× 昼○ 夕×



鹿児島交通「のったりおりたりマイプラン」

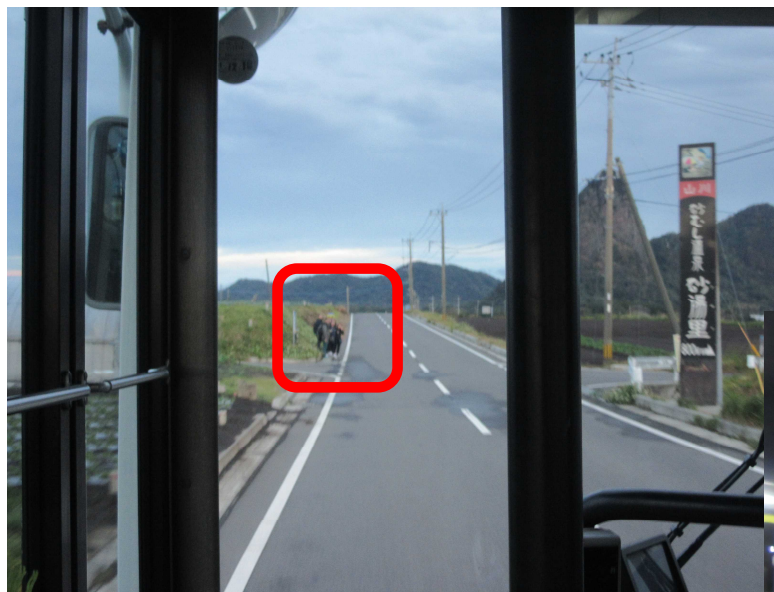
- 指宿 + 知覧地区、霧島地区で発売(写真は指宿の例)
- 指宿知覧: バスの1日券(域内のみ)・2日券(鹿児島往復可能)
- 宿泊施設でも販売
- 案内に簡潔な時刻表あり
- マップがわかりやすい
- バスはパターンダイヤ



2024/06/07



近畿連邦同人社団2024(大井@大井)



参考までに

私が体験したコース

鹿児島(天文館)→①→知覧特攻平和会館→②→指宿→③→池田湖→④→指宿駅(→JRで鹿児島中央へ)

10時スタート→17時半過ぎ指宿駅帰着(やむを得ず食事はコンビニ)

特攻平和会館1時間強見学、池田湖15分見学(指宿で約40分取れる)

①960円 ②970円 ③と④ 840円 計3610円(+JR1020円)

→ 2日券の2,200円で十分元取れる 1日券は③④のみだが元取れる

※鹿児島市内の販売場所がいわさき販売所に限定が痛い(中央駅付近では買えない)

※鹿児島指宿(山川)線、ほぼ同区間の一般路線が使えない。

事例からの示唆

- 観光客をくすぐるのは「究極のローカル」

外国人はどこに行っているのか→著名な場所ばかりではない(のったりおりたり)

- 「組み合わせ方」の知恵

どういう行動をしたいか→既成概念・客層にこだわらない(ロバの旅)


- 「行きたい」が「行ける」、「行ってよかった」に

ターゲットに合わせて販路設定、情報を厳選(のったりおりたり)

「面倒くさい」をくすぐるのが観光客増加のポイント:

既存の案内はほとんどダメ

行く前に面白く、行ってさらに面白く👉また行きたい、に

- 
- なぜいま「観光」と「交通」か
 - 観光における交通利用の現状と課題—学生の調査より
 - 「観光」は「交通」に寄与するか—事例の紹介
 - **まとめにかえて—観光と交通、両部門の連携を**

事例などからの示唆

①「観光客がどう動くか・動きたいか」への注目

バスの路線・時刻が動き方に合っているのか？

「見せる」ではなく「魅せる」必要性

自分のモード・観光地の範囲内でモノを考えない・限定しない

②「動くパターン」への注目

観光に何時間かかるか： それすら知らない交通・観光担当

お金・時間をかけたくない： かけてもらうだけの価値をつける

事例などからの示唆

③「目的」「行きたい」をくすぐるものへの注目

情報入手の方法:公式サイトよりインスタ、感覚重視

信用できる情報欲しい ⇔ 事業者・観光サイトは「最後」

☞ 「入口」にアプローチできない限り「ない」と一緒

④「モノ」「ヒト」「オカネ」「チエ」でタグを組めるか

DMO:ただの観光協会ではダメ、交通・飲食など全産業包含が基本

お金と情報は「どんぶり」で: 相互連関で相互作用

観光と交通、本当の連携とは？

■「空きを埋める魔法の杖」ではない

TDLかUSJではない👉 観光地の「二度目」はハードル高い

■「移動」の前に「目的創り」を

これまでの発信は「行けない」情報ばかり

SNSに載せてくれる基準は意外と高い→あてにしない

新しいもの・イベント・ロケ地→持って1年が限界

観光と交通、本当の連携とは？

■ マーケット(市場)環境の共有化

誰が、いつ、どこに、どうやって、何のために来るか

☞ その分析・情報共有 = 役割分担・連携へ

=これを皆で考え、回すのが本来のDMO:お金含め連動は大前提

■ 「仕掛け」「気づき」の重要性

「気づかない」ものは「知らない」と同じ:情報発信

「こう動くと楽しい」を仕掛け:

楽しみに気づけば「のる」(仕掛けにも、情報発信にも、気持ちにも)

ご清聴ありがとうございました

旧加悦鉄道加悦駅(2019.3)



大井 尚司(おおい ひさし)(大分大学経済学部門)

連絡先 ooi-hisaashi@oita-u.ac.jp